

ウルトラディープフリーザー
YFZ-1423 取扱説明書

型式：YFZ-1423
三相 AC200V (50/60Hz)



株式会社エイディーディー

作成者	株式会社エイディーディー
作成日	2021年3月25日
最終更新日	2021年10月1日

目次

表紙.....	1
目次.....	2
本装置の特徴.....	2
仕様.....	2
安全上のご注意.....	3
注意事項.....	3
電気に関する安全事項.....	3
その他の安全事項.....	3
装置説明.....	4
各部名称.....	4
電源の接続.....	4
運転方法.....	4
その他.....	4
メンテナンス説明1（霜取り・冷凍サイクルユニットの清掃）.....	5
電源の遮断方法.....	5
冷却庫内の霜取り方法.....	5
冷凍サイクルユニットの清掃.....	6
メンテナンス説明2（3か月ごとの簡易点検）.....	6
運転温度の確認.....	6
オイル漏れの確認.....	6
異常音、異常振動などの確認.....	6

本装置の特徴

- ・本装置は超低温フリーザーです。
冷却庫内を約 -120°C ～ -80°C の範囲まで設定できます。
- ・本装置の電源電圧は、手軽な家庭用電圧のAC200V仕様です。
- ・調整済み出荷のため、面倒な操作や調節は必要ありません。電源コードを接続して、ブレーカーを投入するだけの簡単機能です。

仕様

型 式	Y F Z - 1 4 2 3
温度設定範囲	$-120^{\circ}\text{C} \sim -80^{\circ}\text{C}$
外 観	化粧鋼板+ステンレス板仕上げ
外寸法 (mm)	W920×D935×H1036 (突出部含まず)
内寸法 (mm)	W620×D460×H470 (冷却有効深さ：430)
内容積 (ℓ)	約134 (冷却有効容積：122.5)
重 量 (kg)	約205kg
環境温湿度	周囲温度： $10^{\circ}\text{C} \sim 28^{\circ}\text{C}$ / 周囲湿度：5～75%
電源電圧	三相 AC200V 50/60Hz
定 格	呼称出力：2.2kW / ピーク時：約11A / -120°C 安定時：約9A
消費電力	最大：3000W / 安定時：2700W

安全上のご注意

- ・運転前に「取扱説明書」と「安全上の注意（本説明箇所）」を充分にお読みの上、正しく使用して下さい。
- ・感電、凍傷、閉じ込めによる重大事故を未然に防ぐため、この「安全上の注意」を必ず守って下さい。
- ・「本装置」は主に「ウルトラディープフリーザー」本体、及び「冷凍サイクルユニット」を示します。

注意事項

凍傷に注意

1. 冷却庫内から物を取り出す際は、凍傷防止の手袋を使用して下さい。
運転中の冷却庫内の金属面は超低温状態で、触れると皮膚が貼りつく恐れがあります。

子供に注意

2. 本装置の周辺は整理整頓して下さい。特に冷却庫の手前には踏み台となるような物を置かないで下さい。
幼児や子供などが冷却庫内に入ってしまった場合、窒息や凍死など、重大な事故になる恐れがあります。

はさまれに注意

3. 本装置の扉の開閉時には、手指などが挟まれないように注意してください。怪我をする恐れがあります。

電気に関する安全事項

感電注意

1. 本装置は屋内仕様です。防水仕様ではありませんので、本装置右側の冷凍サイクルユニットに雨や水などがかからないように注意して下さい。
足元に水たまりが出来ている場合は、感電に十分注意して下さい。また、電源ケーブルが水に浸ったり、水がかかったりしないように、ケーブルの取り回しに配慮して下さい。

電源を抜く

2. 運転前に本装置冷凍サイクルユニットが濡れていたり、運転中に濡れてしまった場合は、直ちに外部電源ブレーカーを遮断し、拭き取りと乾燥をするまで電源投入並びに運転は行わないで下さい。
漏電、及び感電事故、並びに火災発生の恐れがあり、大変危険です。

過負荷注意

3. ブレーカーが落ちた場合は、冷凍サイクルユニットの故障が考えられます。運転を見合わせ、電気保全のご担当に連絡し、確認を行って下さい。

電圧注意

4. 本装置の電源電圧は間違えないように注意して下さい。誤った電圧で運転を行うと、焼損や動作不良などを起こします。

アースを取ること

5. 本装置にはアースを接続して下さい。

水をかけない

6. 冷凍サイクルユニットに水などがかからないように、充分注意して運転を行って下さい。

その他の安全事項

低温注意

1. 本装置の冷凍能力は非常に強力です。家庭用の標準的な冷凍庫の数倍以上の冷凍能力であり、素手での不用意な取り扱いは凍傷などの危険がありますので、十分に注意をしてご使用下さい。

足元に注意

2. 運転中、本装置設置環境によっては、冷却庫側面や冷却庫蓋に結露が生じ、床を濡らす場合があります。床の材質によっては滑りやすくなり、転倒の危険がありますので、十分に注意をしてご使用下さい。

分解禁止

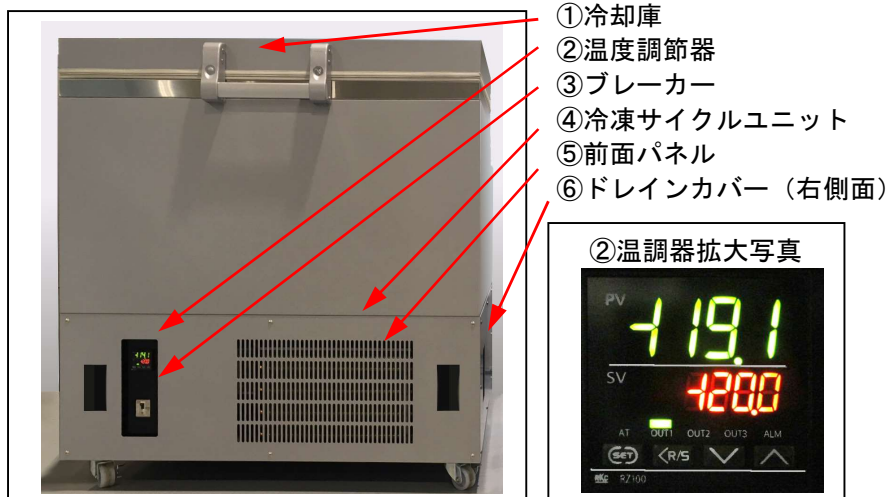
3. 前面パネル以外の冷凍サイクルユニットのカバーは外さないで下さい。内部には高電圧部や高圧の冷媒ガス、熱交換用のファンなどがあり、大変危険です。※分解された場合、製品保証の対象外となります。

装置の廃棄

本装置を廃棄する場合は、正規の冷媒回収業者に依頼し、冷媒ガスの回収を行ってから市町村の規定に基づいて廃棄処分を行うか、または当社までご依頼ください。有償にて引き取り、廃棄処分を代行いたします。

装置説明

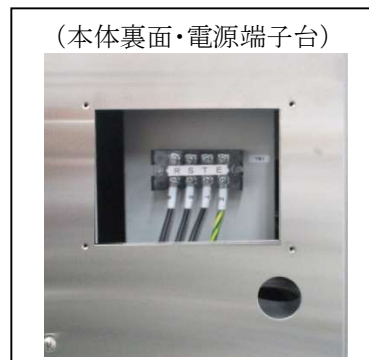
各部名称



- ① 冷却庫：この庫内に冷凍したい物品を入れて凍結させます。
- ② 温度調節器：冷却庫内の温度を設定します。上下の矢印キー（ \wedge ・ \vee ）で設定温度の変更、調整を行います。
- ③ ブレーカー：本装置の電源投入、および過負荷時などの安全遮断を行います。
- ④ 冷凍サイクルユニット：冷却運転を行います。
- ⑤ 前面パネル：フィルター清掃の際に外します。
- ⑥ ドレインカバー：排水用ホースを引き出します。

電源の接続

1. 背面の蓋を開け、蓋の右下の穴より電源ケーブルを通します。
2. 端子台に電源線、及びアース線をしっかり接続してください。
(相順を間違えないようご注意ください。冷凍機が起動しない場合には、電源線の相順を確認してください。)
3. 感電、短絡防止のため、必ず蓋を元に戻してください。



運転方法

1. 室温からの立ち上げ運転時は、冷凍庫内には物を入れず、空の状態にしてください。
2. 電源を接続し、冷凍サイクルユニット前面のブレーカーを投入して下さい。運転が始まります。
3. およそ -120°C を目安に、冷却庫内が十分に冷えるまでお待ちください。
YFZ-1423 (AC200V)：約3時間
4. 被冷凍物品の投入後、冷却庫温度が上昇します。そのまま投入した物品が凍結するまでお待ち下さい。
(投入物品の量、温度、入れ方で変動します)
例：当社保冷材「アドコールド45」Lタイプを30個（容器込み約37kg）投入した場合の、
 -120°C 到達時間：YFZ-1423 (AC200V)：約24時間

その他のご注意


1. 壁際に設置したり、複数台を並べて設置する場合には、本装置の周囲に20cm以上の隙間を設けてください。
放熱が悪い状態で運転を続けると、本装置の故障、破損、短命化が発生する場合があります。また、異常な音、発熱などが発生した場合は、直ちにブレーカーを落として、購入元まで修理をご依頼ください。
2. フリーザーの電源の再投入を行う時には、2分以上経過してから電源の再投入を行ってください。また、瞬間停電で電源が復帰した場合、ブレーカがトリップする場合があります。同様に2分以上経過してから電源を再投入してください。
3. フリーザーの扉を閉めた直後は、内部の空気が冷えるために扉が開けにくい場合があります。
すぐに扉を開きたい場合は、本体左側のゴムキャップを外すと開けられます。
※ゴムキャップは金具部分ではなく、縁を指先でつかむようにして引っ張ってください。扉を開けたら、すぐにキャップを元に戻してください。内部の冷気が逃げるため、冷えが悪くなります。



メンテナンス説明 1 (霜取り・冷凍サイクルユニットの清掃)

電源の遮断方法

霜取り、及び通風孔の清掃時には、必ず本機の電源を落として下さい。
ブレーカーのハンドルを下に押し下げると、本装置の電源が遮断され、運転が止まります。

 濡れた手で操作しないで下さい。感電の可能性があります、危険です。

(ブレーカー)



冷却庫内の霜取り方法

冷却庫の蓋の開閉により、外気の水分が庫内で冷却されて霜が付く場合があります。
過剰な霜の付着は庫内の冷却効率を低下させ、冷却温度や冷却時間の悪化につながります。
霜が氷状に付着した場合は、適宜に霜取りを行って下さい。

定期的な霜取り (扉の凍結による貼りつき防止)

1. 日常での霜取りは、電源を落とす必要はありません。
付属品のポリヘラの他、別途、凍傷防止用に皮手袋、霜を受けるバケツなどをご用意ください。



2. 冷却庫の扉を開け、パッキン面や庫内の壁面に付着した霜を、付属のポリヘラを使用して削り取ってください。
削り取った霜氷は、庫内に落とさずに、バケツなどに移して捨ててください。



3. 本体側のスポンジパッキン、扉側のゴムパッキンは、ポリヘラの先端で引掛けると破損する場合があります。
角を立てないように丁寧に行ってください。

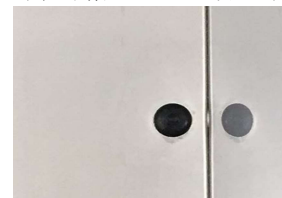


4. 霜が無くなれば完了です。



臨時的な霜取り (庫内の氷の除去)

1. 本機の電源を切り、冷却庫の蓋を開けて、中の冷凍物をすべて取出して下さい。
およそ1～2時間で冷却庫内の霜が解凍し水となって冷却庫内に溜まります。
2. 庫内に溜まった水は、冷却槽内のゴムキャップを外し、本体右側のドレインカバー内部にある排水ホースより排出して下さい。

(冷却槽内ゴムキャップ)



霜取り時の注意

-  庫内に付着した氷を、金属工具などを使用して取り除くことは絶対にしないで下さい。
庫内の変形、故障や、冷却用配管の破損により、冷媒ガスが噴出する恐れがあり、大変危険です。
-  霜取り中は冷却庫内への閉じ込まれ予防のため、踏み台になる物は周囲に置かないで下さい。

冷凍サイクルユニットの清掃

本機前面の通風孔内部には、ラジエータ状の冷凍サイクルユニットがあります。ファンにより外気を吸い込む構造のため、周囲環境によっては埃が溜まり、冷却効率が低下し、冷却温度や冷却時間の悪化につながります。定期的に掃除をし、埃を取り除いて下さい。

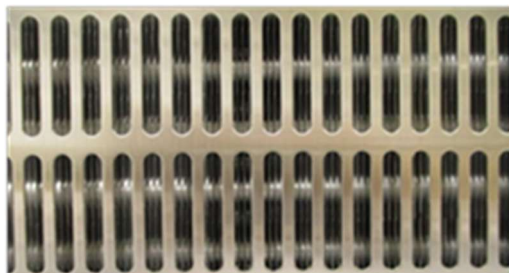
1. 前面フィルターの取外し

前面パネルはマグネット取付けです。パネルを引っ張って外してください。

2. フィルターの掃除

前面パネル裏側のメッシュフィルターは、マグネット取付けです。軽く水洗いをして、付着した埃やごみを取り除いて下さい。次に固く絞った雑巾で水分を拭き取りして下さい。

3. 上記と逆の手順で取付して下さい。



(通風孔)

冷凍サイクルユニットの清掃の注意



本機や通風孔に水をかけることは絶対にしないで下さい。本機は防水仕様ではありません。内部の高電圧回路が水濡れすると、漏電や感電事故の原因となり、大変危険です。



通風孔には工具や棒状の物などは差し入れないでください。破損により、冷媒ガスが噴出する恐れがあり、大変危険です。



取外しの際はパネルのふちで手指を怪我しないようにご注意ください。

4. 清掃が終わりましたら、ブレーカーのハンドルを上引き上げ、電源を投入して下さい。運転が始まります。

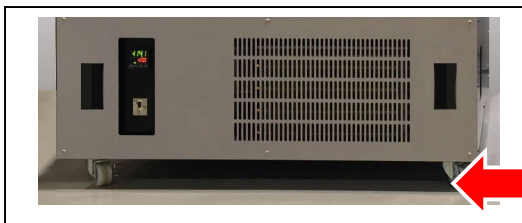
メンテナンス説明 2 (3か月ごとの簡易点検)

運転温度の確認



冷凍庫内が空になっているか、被冷凍物品が投入されてから72時間以上が経過している時に、本機正面、左下の温度調節器を確認し、庫内温度が -11.0°C 以下に到達していることを確認してください。

オイル漏れの確認



本装置設置場所の床面に、オイル漏れ等の無いことを確認してください。

異常音、異常振動などの確認

本機から異常な音や振動、発熱や焦げるような臭いなどが発生していないか、確認してください。いずれの場合も異常を感じたら、下記までご連絡ください。



製造・販売元：株式会社エイディーディー
〒410-0301 静岡県沼津市宮本 25 番地の 1
TEL:055-943-6371 FAX:055-943-6372
<http://www.add-corp.jp/> query@add-corp.jp